

30日 金曜

創世記

29:31 【主】はレアが嫌われているのを見て、彼女の胎を開かれたが、ラケルは不妊の女であった。

29:32 レアは身ごもって男の子を産み、その子をルベンと名づけた。彼女が、「【主】は私の悩みをご覧になった。今こそ夫は私を愛するでしょう」と言ったからである。

29:33 彼女は再び身ごもって男の子を産み、「【主】は私が嫌われているのを聞いて、この子も私に授けてくださった」と言って、その子をシメオンと名づけた。

29:34 彼女はまた身ごもって男の子を産み、「今度こそ、夫は私に結びつくでしょう。私が彼に三人の子を産んだのだから」と言った。それゆえ、その子の名はレビと呼ばれた。

29:35 彼女はさらに身ごもって男の子を産み、「今度は、私は【主】をほめたたえます」と言った。それゆえ、彼女はその子をユダと名づけた。その後、彼女は子を産まなくなった。

ルベン、シメオン、レビ、ユダの誕生のいきさつが書かれています。その母、レアは妹ラケルへの対抗心から子をもうけたのでしたが、それも主の摶理の内にあって、後にイスラエルの各部族となりました。

人がすることは完全に純粹な動機ということはありません。しかし、ある時に主は、御計画のままに全てを働かせて、みわざを成し遂げてくださいます。ヤコブと彼に関わる出来事がそうであったように、私たちも同じでしょう。ただし、主はヤコブを訓練し変えられたように、私たちをも同じように訓練してくださいます。

完全ではないとしても、主に頼って従ってゆきましょう。



①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

